

## 平成30年度 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券（国債・自由金利型定期預金）は原価基準を採用している。

(2) 引当金の計上基準

常勤役員の退職給付引当金

(3) 借入金の限度額

百万円を上限としている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	国債	20,055,260	0	0	20,055,260
	自由金利型定期預金	15,000,000	0	0	15,000,000
	普通預金	5,960,639	0	0	5,960,639
	小計	41,015,899	0	0	41,015,899
特定資産	退職給付引当金	288,333	240,000	0	528,333
	小計	288,333	240,000	0	528,333
合 計		41,304,232	240,000	0	41,544,232

### 3. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

基本財産及び特定財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	科 目	当期末残高	(うち、指定正味財産からの充当額)	(うち、一般正味財産からの充当額)	(うち、負債に対応する額)
基本財産	国債	20,055,260	(0)	(20,055,260)	(0)
	自由金利型定期預金	15,000,000	(0)	(15,000,000)	(0)
	普通預金	5,960,639	(0)	(5,960,639)	(0)
	小計	41,015,899	(0)	(41,015,899)	(0)
特定資産	退職給付引当金	528,333	(0)	(0)	(528,333)
	小計	528,333	(0)	(0)	(528,333)
合 計		41,544,232	(0)	(41,015,899)	(528,333)

### 4. 担保に供している資産

なし

### 5. 保証債務

なし

### 6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益（3月31日現在）

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
国債（利付国債5年第125回）	20,055,260	20,082,000	26,740
合 計	20,055,260	20,082,000	26,740

以上